安心のネットワーク
NOSAI

いわき

いわき市農業共済組合
2012
第54号

■発行
いわき市農業共済組合
〒970-8054
いわき市平鎌田町3-3
TEL 0246(24)1166
e-mail nosai-iwaki@fukushima-nosainet.jp

NOSAIいわきホームページ
http://www.fukushima-nosainet.jp/~nosai-iwaki/

オリーブの苗と松﨑さん

新年のご挨拶

組合長　吉田壯一

新年あけましておめでとうございます。

はじめに、昨年の東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

震災後早十ヵ月を過ぎようとしている中、いまだに津波の影響及び放射能の脅威に苦悩の日々が続いておりますが、このような状況の中でも組合員の皆様には、健やかに新春を迎えられた事と、お慶び申し上げます。また、組合員皆様の本組合事業運営に対しての、深いご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

平成二十三年産の水稲は、原発事故を受け市内で約四百六十ヘクタールもの作付けが見送られました。放射能による汚染や風評被害が懸念されたものと思われます。幸い市内の米からは基準値を超えるようなセシウムは検出されず、ほっと胸をなでおろしたところではありますが、いつになったら以前のように放射能を気にせず、農業に励めるのか、とても気にかかるところです。

昨年の十一月には野田首相がＴＰＰ（環太平洋連携協定）交渉に参加の意思を表明し、貿易自由化交渉に積極的に取組んでいくものと思われ、その動静いかんにおいては、国の根幹である農業に多大なる影響が及ぶものと思慮されるところです。

昨今の農業は所得の減少・担い手不足の深刻化や高齢化といった厳しい状況に直面し、農業の競争力及び体質強化は、待ったなしの状況に追い込まれています。このような状況下でのＴＰＰ参加表明は、いかがなものでありましょうか。現在まで国は農業の構造改革に幾度となく取組んできたものの、国際競争力のある、足腰の強い農業の実現には程遠い状況であると思います。

農政がいかに変化しようとも、個々に生じた自然災害等による収穫量の減少分は補填されないことから、農業災害補償制度は必要不可欠なものと思います。今後も農業共済組合は、組合員のセーフティネットとしての役割を発揮するとともに、災害の未然防止など防災事業に重点をおいた事業展開に努めて参ります。

平成二十四年が組合員の皆様にとりまして、より良い年である事をご祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

農業経営安定のため全力を尽くします

組合長　吉田壯一
副組合長　磯上忠正
理事　木田傳右ェ門
〃　須藤甚次郎
〃　草野英一
〃　小松慧
代表監事　藁谷昭夫
監事　草野幸雄
〃　櫛田義勝
参事　大森憲一
外職員一同

おめでとうございます

農業共済功績者受賞

勿来地区　平　山　　茂さん

去る12月5日に東京都日比谷公会堂で関係者約１０００人を集め開催された、平成23年度ＮＯＳＡＩ事業推進大会において、勿来地区の平山茂さん（74）が、農業共済功績者として表彰されました。

これは長年にわたり共済部長兼損害評価員として、農業共済事業の普及推進並びに適正な組合運営にご尽力された功績が認められ受賞されたものであります。

「平成23年度ＮＯＳＡＩ事業推進大会において、功績賞を受賞しましたことは、たいへん嬉しく晴れがましい気持ちでございます。これもひとえに、組合員の皆様の日頃のお力添えによるものと、心から御礼申し上げます。

平成23年は3月に発生した大震災の影響による農産物の出荷停止や風評被害など、かつてない非常事態となりました。さらに農業情勢を取り巻く問題もあり、組合員の皆様は農業経営にとても苦慮されていることと思われます。

大変厳しい局面ではありますが、大震災の傷跡が一日も早く癒えることを願うとともに、今後も組合員の代表として、微力ながら貢献していこうと心新たに誓う所存です」と感謝と決意の程を語ってくれました。

電気柵器の貸し出しについて

近年、イノシシの被害が中山間地を問わず平坦部でも見られるようになったのを受け、当組合では損害防止を目的として電気柵器の貸し出しを行いました。

平成24年度も実施する予定です。詳しくは、ＮＯＳＡＩいわきまで連絡ください。

※貸与台数には限りがあり、借りられない場合があるのでご了承ください。また、いわき市農業共済組合に事務局のある「いわき市病害虫防除団」でも電気柵器の購入助成を行っております。（団体を対象に購入額の半分を助成）

獣害による被害圃場

共済金支払い状況

事　業	戸数（戸）	支払共済金（円）	被　害　の　状　況
農作物共済	162	9,298,408	獣害、風水害、いもち、干害、地震
畑作物共済（ばれいしょ）	1	54,963	獣害
果樹共済（23年産）	（延）5（実）5	254,880	病虫害
園芸施設共済	21戸、29棟	1,551,678	風水害、地震（11月30日現在）

園芸施設共済

風害や病害虫等の事故が発生したら、NOSAI いわきへ連絡をお願いします。

果樹共済

〈自然災害に備えて〉

近年、地球温暖化の影響で異常災害が心配されます。当組合では、総合方式のほかに、**自然災害に特化した特定危険方式**の引受も行っています。

特定方式とは、暴風雨、ひょう害、凍霜害という特定の事故による減収量を把握する方式です。掛金も総合方式に比べると低く設定されていますので、ぜひご検討ください。

強風により落果したなし

〈剪定処理応援隊〉

今年もチッパ作業について、例年の通り実施することになりました。

対　　象：果樹共済加入者の加入園地及び加入予定園地

実施期間：平成 24 年 1 月から 3 月末日まで　　利用料金：10a 当たり 700 円

問い合わせ先：NOSAI いわき果樹係または、地元の共済部長さんまで

※剪定枝は作業しやすいようにまとめておいてください。

※チップについては、他の用途には使わず、園地の外には出さないようにしてください。

復興に対する取り組み

―― 箱崎哲夫さん ――

いわき市平下高久の共済部長兼評価員の箱崎哲夫さん（63）は、耕作している全ての田んぼが地震と津波の被害にあった。震災直後から3月中は避難していたが「今年作らなかったら田んぼが荒れて、時間がたてば農業に対する情熱まで無くなってしまう。負けてたまるか、気持ちまでも被災したらだめだ、自分の田んぼは自分で何とかするしかない」と思い4月の初めに行動を開始した。

田んぼは松くい虫で処分された直径約 40 センチ長さ1メートルぐらいの防風林の松等、様々なながれきが多いところで 30 センチ以上もおおわれた状態でした。がれきの撤去は、地域のボランティアの手を借りて行ったがとても大変でした。

次は、地震で隆起陥没した耕地の、整地作業と除塩作業で、農協の指導のもと中和剤を使い、例年より 10 日早く水を入れ、水をかけ流しながら2、3日おきに、4回から5回の代かき作業を行った。この影響で田植えが 10 日程度遅れたが、何とか田植えをすることが出来た。

箱崎さんは、「収穫期には放射能も検出されず安心したが、風評被害で売るのに自信がない。検査体制をもっと整えてほしいと思う。今まで築いてきたものを、なくしてはならないという一念で作付けしたが、今年も収穫の喜びを感じられてよかった」と話す。

震災直後の水田▶

診療中の坂本獣医師

家畜共済　大切な牛たちへの寒冷対策は万全ですか？

郡山田村診療センター所長　**坂本　公一**

気温が低下するこれからの季節、牛は寒さには強いものの、直接牛体に当たる隙間風や密閉された牛舎の汚れた空気は、牛にとって大きなストレスになります。

牛の生産限界温度は－10～30℃の範囲で、好適温度は哺乳子牛が13～25℃、育成牛が4～20℃、成牛が10～15℃といわれていますが、特に寒冷などによってストレスがかかった場合、身体の抵抗力が低下し、生産性が落ちたり、風邪や下痢などの病気にかかり易くなってしまいます。

また、この時期は空気が乾燥するためにウイルスによる病気が蔓延しやすい時でもあります。

寒冷対策のポイント

1、換気の励行

冬季は寒さのため畜舎を密閉しがちですが、糞尿からのアンモニアガス、メタンガス、窒素ガスなどが充満し、肺炎など呼吸器系の病気を引き起こす原因となるので、換気には十分気をつけて下さい。

2、畜舎掃除の励行

糞尿で湿った牛床で寝起きする牛は体熱を奪われて病気に罹りやすくなります。畜舎をこまめに掃除して、乾燥した敷料に交換して下さい。

3、子牛の保温

分娩直後の子牛や哺乳子牛は、低温に対する抵抗力がないので、保温や隙間風には特に気をつけて下さい。

4、分娩時の立会い

冬季は、分娩後母牛が子牛を舐めないことによって、出生子牛が凍死する事故が多く見られます。分娩予定日を過信せず、分娩には必ず立会い、子牛の保温と初乳の早期投与に気をつけて下さい。

5、水道水の凍結に注意

寒冷時、水道水が凍結して断水することがあるので、ウォーターカップ等の点検も忘れないようにして下さい。特に冬季は飲水の減少による尿道結石症が多発する時期なので、オス子牛や去勢肥育牛の排尿の様子を常に注意して観察して下さい。

異動の連絡は、お済ですか？

- 家畜を購入したとき、売却したとき
- 子牛が生まれたとき
- 幼畜が出生後６ヶ月（出生月を含める）の初日を迎えたとき

これらの理由で飼養頭数が変わった場合は組合まで連絡をお願いいたします。

建物共済　●お見舞金受付2月で終了のお知らせ●

東日本大震災により半壊以上り災された建物共済加入者の皆様への見舞金は**平成24年2月末日を持って受付を終了**致します。未だ組合へ連絡せず、居宅が半壊以上で、いわき市発行の「り災証明書」をお持ちの方は、当組合へ早急にご連絡ください。

東日本大震災等による建物共済金を11月末までに、181棟に対し1億2,205万5,484円支払いました。

東日本大震災見舞金は１１月末までに1,291戸の加入者に5,605万円を支払いました。

農業共済組合には、オールリスクの「総合共済」もございます。

地震や台風に対応できるおすすめ保険は、1,000万円あたり30,400円の掛金で、ご加入頂くことができます。

●こんな事故のときにも、共済金が支払われます

【火災共済】
- 建物外部からの物体の、飛来、衝突**（自然災害による損害を除く）**
- 給排水設備に生じた事故、加入者以外の者が占有する戸室で生じた事故に伴う漏水、放水又は出水による水ぬれ損**（自然災害による損害を除く）**
- 盗難によるき損・汚損**（盗難そのものの被害は除く）**
- 騒乱及び集団行動に伴なう暴力行為・破壊行為

【総合共済】　上記の損害　＋　地震・風水害・土砂崩れ

農機具共済

まもなく春作業の時期がやってきます。福島県内で近年農機具による死亡事故が多発しています。
事故防止の基本は、作業前の保守点検から！
ミッションやチェーンケース内のオイル量の点検や交換、各駆動部等への注入や注油などは、使用する油脂の種類に留意し、取扱説明書に従って行いましょう。

トラクターの保守点検

キャビンガラス
- キャビンガラスの事故が増えています。
- 風の強い時の開閉に十分注意しましょう。

クラッチ
ペダルの遊び
- クラッチが切れなくなり、機体が止まらず事故の原因になります。
- クラッチディスクの破損の原因になります。

ハンドル
あそび・ガタ
- 操舵性、直進性が悪くなり事故へつながります。

ユニバーサルジョイント
- グリス不足による磨耗、折損等が発生します。
- グリスニップルよりグリス注入を行いましょう。

ブレーキ
左右ペダルのあそび
- 機体が止まらず事故の原因になります。
- ブレーキの片ぎきにより転倒や事故の原因になります。

チェーンケース・ギヤケース（オイル）
オイルの量とよごれ
- オイルが不足・劣化、水・泥の混入でロータリの寿命を縮める原因となります。

タイヤ
傷・磨耗、空気圧、ホイルのぶれ
- パンクを起こし、事故の原因になります。
- 操舵性が悪くなり事故へつながります。
- けん引力が小さくなります。

耕うん爪
摩耗・取付けのゆるみ
- 爪の摩耗により土の耕起・反転が悪くなります。
- 取付けがゆるむと爪が脱落する原因になります。

万が一の時に備え農機具共済への加入をおすすめします！
農機具共済の加入・ご相談は NOSAI いわきまでご連絡下さい。

震災に負けず

この度の東日本大震災にも屈せず頑張っている農業者を紹介します

いわき市永崎字川畑の新妻秋雄さん（88）

家は永崎海岸から約４００メートル位の所なので、まさか津波が来るとは思いもしませんでした。住宅は床上20㎝程度の浸水でしたが、農機具がある作業場は家より低い場所なので水没してしまいました。特にコンバインは昨年買ったばかりなので、本当にがっかりしました。新しく農機具を買うかどうか迷いましたが、息子が農業をやる気になってくれているので新調しました。今年も農業は続けます。震災には負けられません。

NOSAI 掲示板

NOSAI 事業の予定や行事新着情報をお知らせいたします。

ふれあいの旅

今回は 11 月 4 日から 6 日まで東北地方は青森県「東北新幹線はやぶさで行く紅葉の青森・八甲田・津軽の旅」でした。

八甲田山、岩木山のそれぞれが持つ雄大な美しさと景観に心を癒され、青森産食材の彩り豊かな郷土料理を堪能しました。

参加された方々は、「何より、天候にめぐまれてよかった。そして『はやぶさ』の乗り心地が最高でした」など感想を口にし、震災を忘れさせてくれた一時を過ごされました。

岩木山神社で 1 号車の皆さん

岩木山神社で 2 号車の皆さん

共済掛金等の納入は口座振替でお願いします

本組合では、適正な事業運営を図るため共済掛金等については口座振替による納入をお願いしております。Ｆネットの利用により、ほぼ全ての金融機関の利用が可能ですので、共済掛金等の口座振替への移行にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

農業共済新聞はいかがですか？ 営農と暮らしに役立つ情報をお届けします

農業共済新聞は「農家に学び、農家に返す」を創刊以来の編集方針として発行しています。

NOSAI 事業説明はもとより、農政の動きから、暮らしや営農・生産技術まで、また、地方版には県内各組合の通信員が、身近な話題を取材し提供しております。是非購読してみてはいかがでしょうか。毎週火曜日発行。購読料は、月 250 円（年間 3,000 円）。詳しくは、NOSAI いわき総務課まで。

✉ お便り大募集

組合や広報紙に対する意見など、何でも結構ですので、NOSAI 君クイズの応募と合わせてどしどしお便りください、お待ちしております。

表紙紹介

耕作放棄地でオリーブ栽培

いわき市の休耕地を活かし、オリーブを栽培して三年。県内の農産物、加工品の販売も行っている、いわきオリーブプロジェクト研究会理事長松﨑康弘（54）さん。

オリーブを栽培するきっかけは、いわきの水産資源の活用を検討していた際、鰯の塩漬け（アンチョビ）の延長線上にオリーブオイルを思いつき、オリーブの生産を思いついた。その後、二年前にいわきオリーブプロジェクトを立ち上げた。研究会のメンバーは企業や一般会員（農家）を含めて25名。月に一回の勉強会を行っている。

現在、いわき市内15箇所に５００本のオリーブが定植されている。いわき市での、オリーブ栽培は文献上、不可能とされていた。松﨑さんは、以前スペインに滞在した際、いわきの緯度とスペインの緯度が同じ事や日照時間の長さ、降水量が少ないなどの気象条件から、いわきでもオリーブの栽培が可能ではないか。また、オリーブは、木が丈夫で、消毒などをしなくて良いため手間がかからないので広まるのではないかと思いオリーブの栽培を開始した。

いわき市内で２４４ヘクタールが遊休農地と言われている。近い目標として８年間に１００ヘクタールの定植を計画。年間に2万本の定植を考えているため、苗木を作るのが課題となっている。将来的には、いわき市の人口である、35万本のオリーブの定植を目指し、オリーブの産地化を考えている。

「震災の影響で、一時は、オリーブプロジェクトが終わってしまうと考えた。しかし、これ以上いわきの農業が衰退しないためにも、農家だけの問題としてではなく、いわき市民全体で農業について考えるきっかけになれば良いと思う。

ノアの箱舟のハトとオリーブの伝説にちなみ、オリーブがいわきの復興と農業の希望の実になれば」と松﨑さんは語ってくれた。

NOSAI君クイズ

正解者の中から抽選で５名様に粗品をプレゼント

〇に入る文字を答えて下さい。

Q１．〇〇〇〇の枝は鳩とともに平和の象徴とされています。
A．〇〇〇〇

Q２．「〇〇〇〇」21 世紀の夢の超特急をカタチにしたら、こうなりました。
A．〇〇〇〇

★応募方法★　クイズの答え、本広報紙の感想、ご意見等を記入の上、ハガキか FAX でご応募下さい。住所と名前をお忘れなく。

★締 切 日★　平成 24 年３月 10 日(土)　当日消印有効

■前回のクイズの答え並びに当選者　①つり　②ねぶた

当選者は次の方々です。

阿部 政子様・大田原 謙司様・丹野 金市様・猪狩 業作様・高木 幸子様

以上の皆様でした。おめでとうございます。

この広報紙に関するお問い合わせ先

〒970-8054　いわき市平鎌田町 3-3　いわき市農業共済組合
TEL.0246−24−1166　FAX.0246−24−1169　までお願いいたします。